

学校だより



みなみたなか

平成22年12月24日
練馬区立南田中小学校
校長 梶谷 雅弘

4月から今日までを振り返り 【ご支援有り難うございました。】

校長 梶谷 雅弘



みなみん学級での拡大読み聞かせ



カリフォルニア州教育文化交流団視察を迎え



谷原音楽祭で演奏する雅楽クラブの児童

関しては、様々な視野から話を聞かねばならないと言うことです。私がお話しした方達は、皆、お子さんが受けている教育に満足していらっしやいました。・・・・・・・・・・早く日本についての講義をしたくてたまりません。学んだことを生徒と分かち合いたいのです。彼らに伝えたい一番のメッセージは、「私達は一人一人違って見えるけれど、違いより共通点の方が多いのだ。」ということです。世界中どこへ行っても、子供は子供です。同じことを望み、必要としています。もし、このことを生徒に教えられたら、もっと寛容、理解し合い共感しあえる世界を作り出せるのではないのでしょうか。日本は、魔法の国です。美しい自然に包まれ、歴史の不思議に満ち、親切で温かい人々で一杯の国。この旅は、紛れもなく一生の宝物です。夢を叶えてくださって有り難うございました。

平成22年度2学期前半が本日終了しました。振り返ると、4月にみなみん学級が開級し、新しい南田中小学校がスタートしました。みなみん学級の児童と各学年の児童との交流を通して、相手を思いやる気持ちがどの児童にも大きく育ちました。

毎朝、持久走に取り組んでいますが、みなみん学級の児童に寄り添い伴走する6年生の姿も見受けられます。自分の弟や妹のように慈しむ姿を目にし、本校の宝物としてみなみん学級を更に育てていきたいと強く願っています。

7月1日に、カリフォルニア州教育文化交流団が来校しましたが、チェマワ中等学校で世界史を担当している Amber Carrow 先生の報告書を頂きましたので、本校に関係のある箇所を紹介いたします。（保護者の小川恵子様 に訳して頂きました。）

・・・・古い寺社は、見事で精神性にあふれていましたが、何より印象的だったのは、学校訪問の時です。学校の方々は常に両手を広げて温かく私達を迎えてくださいました。私は元々涙もろいタイプですが、私達が、南田中小学校の体育館に足を踏み入れ全校児童に迎えていただいたとき私達の多くが目には涙を浮かべていたのではないのでしょうか。皆さんは、伝統的な歌を歌ってくださり、細やかなもてなしで私達が特別な存在だと感じさせてくださいました。この温かさは、この日のためにボランティアとしていろいろ準備してくださったお母さん方と給食をいただいたときも続いていました。皆さんが教育の本質を見通して質問をなさり、子供たちの話や日本の教育システムについての意見を聞かせてくださったのでとても楽しかったです。

皆さんとの会話からとても貴重なことを学びました。教育に皆さんとの会話からとても貴重なことを学びました。教育に



与那覇百子様の話に聞き入る6年生

ひめゆり部隊の与那覇百子様から体験談をお聴きました。

14日（火）に2時間にわたりお話をお聞きすることが出来ました。保護司の桐野利子様のご紹介で実現いたしました。

負傷した兵隊の看病や世話の様子、いつも二人で行動していた貞子さんの最後の様子など、淡々とお話をしてくださいました。6年生の児童は、話に聞き入り、平和の尊さを再確認し、二度と戦争を起こしてはならないと固く心に刻みました。

そして、毎日の暮らしの中で、友達と仲良く過ごし自分たちの夢を目指して努力しあうことを誓っていました。

3年生が練馬区の代表として、東京都小学校連合学芸会で「半日村」を上演いたします。
日時：平成23年1月28日（金）14:00頃より 場所：東京都児童会館大ホール（渋谷駅徒歩5分）